

『ドルか、ドル以外か。為替市場の見方』

ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)
追加型投信／内外／債券

2020年6月30日

- 為替市場では、『ドルか、ドル以外か。』で二極化の動きが鮮明に
- 足元では日本の貿易・サービス収支の悪化が顕著、需給面での円安要因に
- 今後もリスクセンチメントの変化等に留意し、通貨配分を柔軟に調整する方針

1. 株価との連動性が薄れるドル/円

近年の為替市場では、円は安全資産であるとの見方から、株高局面では円安、株安局面では円高という構図が続いてきました。しかし、今年3月には、株価の急落局面において、ドルに対して急速な円安が進行するなど、これまでとは異なる動きが見られました。(図表1)。

これは、株安局面では円高という構図が変化したというよりは、基軸通貨であるドルに強力な買い圧力が生じたことが要因と考えています。4月以降は、株価の変化に対し円とドルが同じ方向に動く傾向が続き、ドル/円(ドルの対円レート)は、膠着感の強い展開となっています。

2. ドル以外の通貨に対しては円は株価と連動

一方、ドル以外の主要通貨に関しては、株高⇌円安、株安⇌円高という動きが続いています(図表2)。ドル/円の動きを考慮すると、最近の為替市場では、『ドルか、ドル以外か。』で、二極化の動きが鮮明になっています。

このため、株価動向やリスクセンチメントの変化を逸早く察知し、ドル以外の投資比率を柔軟に調整することができれば、パフォーマンスの向上に繋がる可能性が高いと考えています。

3. 貿易・サービス収支の悪化が円安要因に

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、足元で日本の貿易・サービス収支の悪化が顕著となっています(図表3)。

貿易収支とサービス収支の悪化は、それぞれ輸出の大幅減少、訪日外国人の大幅減少に伴う旅行収支悪化が主因であり、いずれも短期間で回復に向かう可能性は低いと考えています。

貿易・サービス収支の悪化は、当面、需給面での円安要因として働くと見えています。

(図表1) 米ドル(対円)とNYダウ



※米ドル(対円)：米ドルの対円レートを指数化

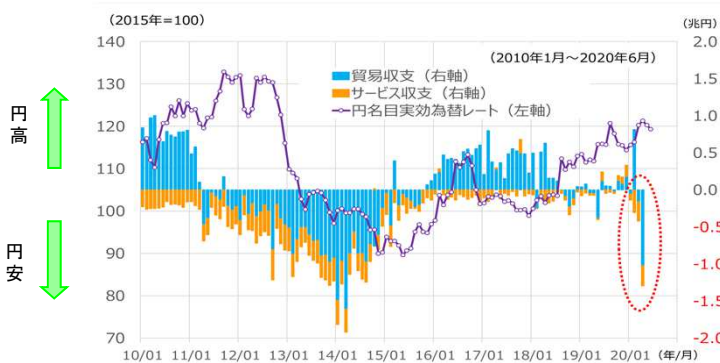
(図表2) 米ドルを除く主要4通貨(対円)とNYダウ



※米ドルを除く主要4通貨(対円)

：ユーロ、ポンド、加ドル、豪ドルの対円レートの騰落率を基に指数化

(図表3) 貿易・サービス収支と円名目実効為替レート



※円名目実効為替レート：日経通貨インデックス円

直近値は6月26日

※貿易・サービス収支のデータは季節調整済、直近値は2020年4月

(出所) 図表1～3はBloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

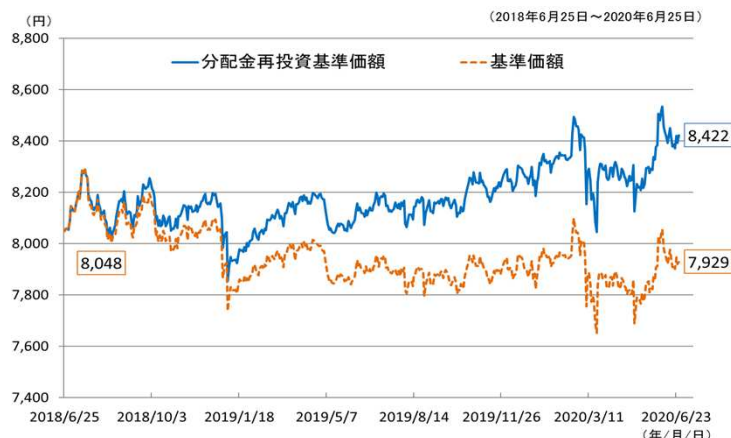
■本資料は、「ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)
追加型投信／内外／債券**
4. 直近および今後の通貨戦略 (マザーファンド)

当ファンドでは、6月上旬に投資通貨に対し円が全面安となる場面では、円の投資比率を一時4%台まで引き下げていましたが、急速な円安に対する反動が警戒されたことや、株価が不安定な動きを示したことなどを勘案し、その後円の投資比率を大幅に引き上げる対応を行いました。この過程では、主に豪ドルや加ドルの投資比率を引き下げる一方、円の投資比率を一時19%台に引き上げました。ただ、6月25日時点では、円の投資比率を13.5%としています。

今後の通貨戦略に関しては、短期的に株価が不安定な動きを続ける可能性が高いと見ており、やや慎重なスタンスで臨む方針です。今後も、株価動向など市場のリスクセンチメントの変化等に留意し、外貨の投資比率や通貨配分を柔軟に調整する方針です。

※なお、上記の運用方針は、あくまで現在の投資環境の下で想定したものであり、投資環境に大きな変化があった場合は、運用方針を変更することがありますのでご了承ください。

当ファンドの運用状況
(作成基準日：2020年6月25日)
基準価額の推移


※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

また、分配金再投資基準価額は、2018年6月25日の基準価額(8,048円)を起点として当該期間中に支払われた分配金(税引前)を考慮し、計算しています。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

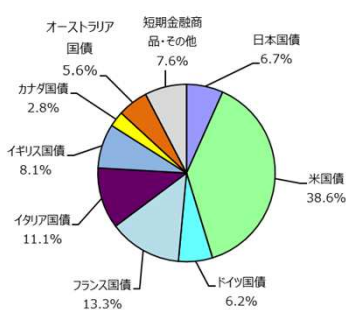
ファンドの状況

基準価額	7,929 円
純資産総額	873 億円
マザーファンド組入比率	99.5%

分配金実績

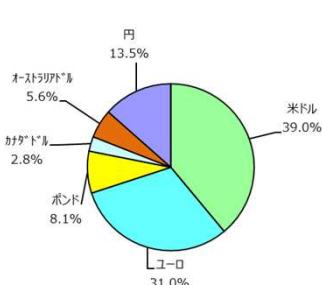
設定来累計	6,897 円
-------	---------

※分配金は1万口当たり(税引前)です。

マザーファンドの状況
(作成基準日：2020年6月25日)
ポートフォリオの内訳


※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※通貨別投資比率は、作成基準日における純資産総額に対する各通貨残高の比率です。また、基準日に未決済の為替取引を含んでいます。

通貨別投資比率

ポートフォリオの特性

保有債券の平均最終利回り	0.41%
保有債券の平均直接利回り	3.39%
ファンド全体のデュレーション	8.11年

※デュレーションとは投資元本の平均回収年限のことを言い、対象債券のクーポンが同じであれば残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。また、金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)
追加型投信／内外／債券**

ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、主要先進各国の国債等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「金利変動リスク」、「為替変動リスク」があります。その他の変動要因としては「信用リスク」、「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限2.20%（税抜2.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.1%

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.155%（税抜1.05%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0055%（税抜0.005%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**ワールド・ソブリンインカム(愛称 十二単衣)
追加型投信／内外／債券**

2020年6月30日現在

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
共和証券株式会社	関東財務局長(金商)第64号	○	○		
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
ばんせい証券株式会社	関東財務局長(金商)第148号	○			
二浪証券株式会社	四国財務局長(金商)第6号	○			
北洋証券株式会社	北海道財務局長(金商)第1号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
明和證券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
相生証券株式会社	近畿財務局長(金商)第1号	○			
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○		○	
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			
(登録金融機関)					
株式会社関西みらい銀行	近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社紀陽銀行	近畿財務局長(登金)第8号	○			
近畿産業信用組合	近畿財務局長(登金)第270号	○			
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社島根銀行	中国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社第三銀行	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社徳島大正銀行	四国財務局長(登金)第10号	○			

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)